

Visa とみずほ銀行、

キャッシュレス社会の実現に向けた包括的パートナーシップ契約の締結を発表

株式会社みずほ銀行（頭取：加藤 勝彦、以下「みずほ銀行」）とビザ・ワールドワイド・ジャパン株式会社（代表取締役社長：シータン・キトニー、以下「Visa」）は、このたび、キャッシュレス社会の実現に向けた包括的なパートナーシップ契約を締結したことを発表します。この契約の下、みずほグループ全体でクレジットカード決済拡大に向けた協業を開始します。

日本のキャッシュレス市場は、経済産業省が発表した新国内指標※によれば 2025 年のキャッシュレス決済比率は 58%になり、2030 年までに 65%、さらに政府は将来的に、世界最高水準のキャッシュレス決済比率 80%を目標としており、今後もさらなる市場拡大が見込まれています。

こうした背景のもと、消費者の利便性向上や事業者の業務効率化、経済全体のデジタル化推進が重要な課題となっており、両社でキャッシュレス社会の実現に向けて協業を開始することで合意に至りました。

具体的には、みずほ銀行と Visa は、キャッシュレス推進にむけて以下の取り組みを実施します。

1. 日本国内におけるクレジットカード決済連携強化

日本国内のクレジットカード決済において、システム連携やセキュリティ強化、加盟店ネットワークの拡充などを通じて、より安全かつ円滑な決済環境の構築を目指します。これにより、ユーザーは幅広い店舗やオンラインサービスにおいて、さらに安心してクレジットカード決済を利用できるようになります。

2. 事業者間 (BtoB) キャッシュレス決済市場のキャッシュレス化を促進

企業間取引におけるキャッシュレス決済の導入を推進します。みずほ銀行が培ってきた法人取引の知見と Visa のグローバルな決済インフラを活用し、請求書決済や経費精算といった BtoB 領域におけるキャッシュレスサービスの提供を強化します。これにより、企業の業務効率化や資金管理の高度化を支援し、BtoB 市場全体のキャッシュレス化を加速させます。

3. ユーザーの利便性を追求したキャッシュレス体験の検討

お客さまの多様なニーズに応えるため、スマートフォンアプリの機能拡充や新たなデジタル決済手段の導入、ポイント還元施策などを共同で検討します。これにより、ユーザーはより便利で快適なキャッシュレス体験を享受できるようになります。

今後もみずほ銀行と Visa は、キャッシュレス社会の実現とお客さまの利便性向上に向けて、社会やお客さまの多様なニーズにお応えし、安心・安全で利便性の高いサービスの創出を通じて、持続的な価値提供に取り組めます。

※：経済産業省リリース

<https://www.meti.go.jp/press/2025/03/20260331006/20260331006.html>（経済産業省 HP）

【Visa について】

Visa は電子決済の世界的リーダーとして、世界 200 以上の国と地域における決済取引によって消費者、加盟店、金融機関や政府機関をつないでいます。Visa のミッションは、最も革新的かつ利便性や信頼性が高く安全な決済ネットワークで世界を結び、個人や企業、そして経済の繁栄に貢献することです。私たちは、世界中のすべての人にとっての包括的な経済こそが、世界中の人々の生活を向上させ、経済へのアクセスが決済の未来へつながると信じています。詳しくは、[Visa.com](https://www.visa.com) (英語サイト) または www.visa.co.jp (日本語サイト) をご覧ください。